



温度調節計

SA220

イニシャル設定差分説明書

IMR03F04-J2

SEP. 2022

対象取扱説明書番号: IMR01D03-J□

1. まえがき

SA シリーズは、製品の種類によって一部の機能が異なります。本説明書では、SA200 と SA220 においてイニシャル設定で異なる説明について記載しています。本説明書は、SA220 の初期設定や機能設定をする際に、SA200 イニシャル設定説明書 (IMR01D03-J□) と併せてお読みください。なお、SA200 イニシャル設定説明書 (IMR01D03-J□) の内容は、SA220 に読み替えてご使用ください。

主な相違点

- SA220 ではサンプリング周期の選択が可能
- 積算稼働時間が 5 桁表示まで対応
- SA220 では測定値 (PV) のピーク温度とボトム温度の保存と確認が可能

2. SA200 との相違点

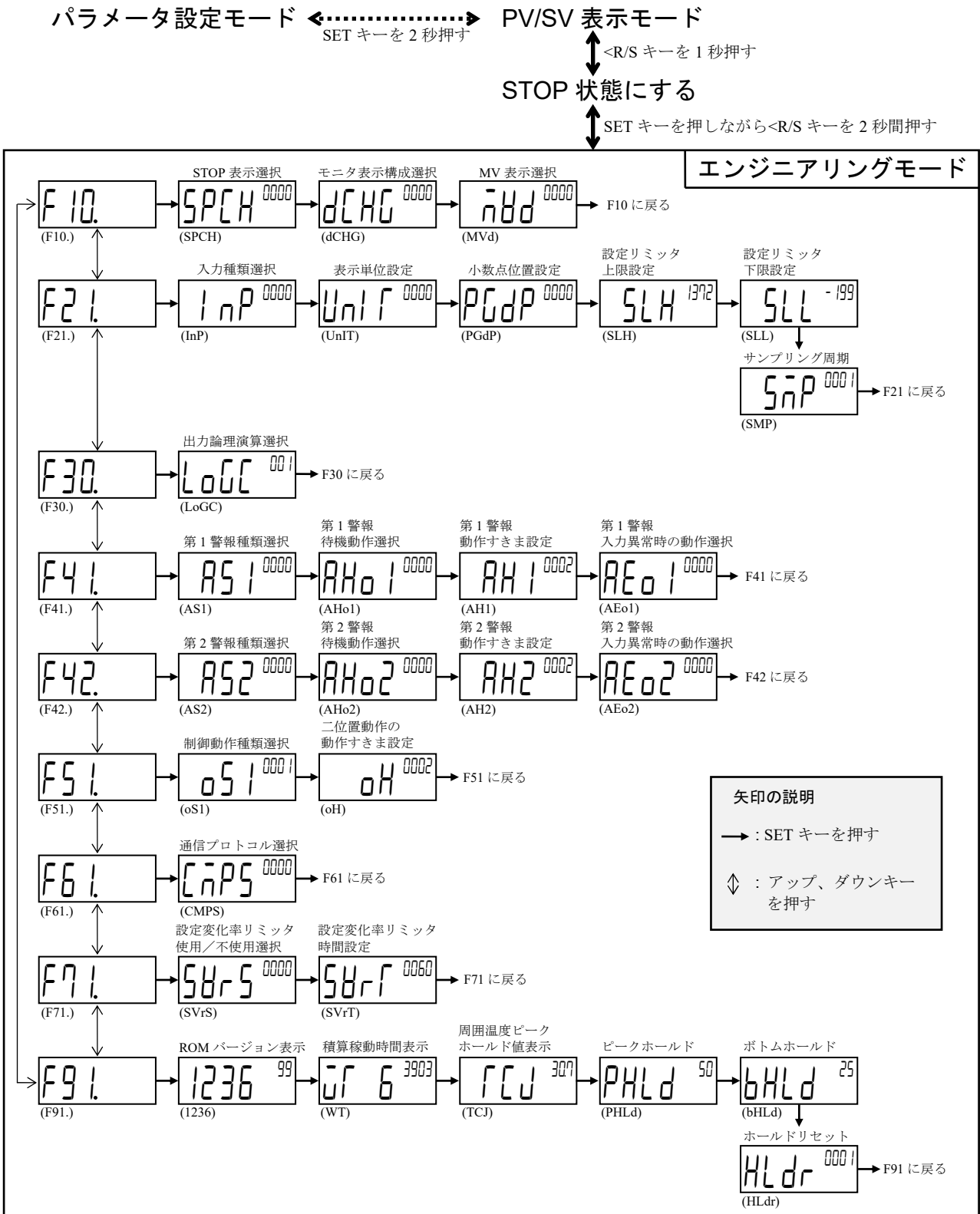
SA200 イニシャル設定説明書 (IMR01D03-J□) のページごとに相違点を説明します。

SA200 イニシャル設定説明書 (IMR01D03-J□)..... P. 4

2.1 モード表示フロー

エンジニアリングモード内での表示フローを以下に示します。エンジニアリングモードへの切り換え方法は、1.1 エンジニアリングモードへの切替 (P. 1) を参照してください。

■ 表示フロー



SA220 では、測定入力のスAMPLING周期を選択できます。0.5 秒の他に、0.25 秒のスAMPLING周期に変更できます。スAMPLING周期のパラメータは、ファンクションブロック F21 の SLL (設定リミッタ下限設定) のつぎに表示されます。

(6) SMP (スAMPLING周期設定)

出荷値は「0001」です。

設 定				入力の種類
			0	250 ms (0.25 秒)
			1	500 ms (0.5 秒)
0	0	0		「000□」固定

SA220 では、ファンクションブロック F91 内に、測定入力のピーク値とボトム値に関するパラメータがあります。これらのパラメータは、TCJ (周囲温度ピークホールド値表示) のつぎに表示されます。

関連パラメータ

- ピークホールド
- ボトムホールド
- ホールドリセット

2.4.9 F91 (メンテナンス情報の表示)

(1) 1236 (ROM バージョン表示)

搭載ソフトウェアのバージョンを表示します。

表示例:

PV	SV
1236	99

(2) WT (積算稼働時間表示)

積算稼働時間を表示します。ただし、積算時間は電源の ON/OFF により+1 されます。

表示範囲: 0~99999

表示分解能: 1 時間

表示例: 99999 時間の場合

PV	SV
99	99999

(3) TCJ (周囲温度ピークホールド値表示)

SA220 裏面端子部の周囲温度の最大値を記憶し、表示します。

表示範囲: 0.0~999.9

表示分解能: 0.1°C

表示例: 50 °C の場合

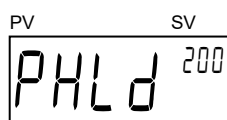


小数点位置は固定です、変更はできません。

(4) PHLd (ピークホールド)

測定入力のパーク値 (最大値) が記憶され、設定値 (SV) 表示器に表示されます。

表示例: 200 °C の場合



記憶されているパーク値 (最大値) は、ホールドリセット (HLdr) でリセットすることができます。



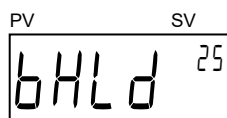
以下のパラメータを変更すると、ホールド値が適正な値ではなくなる場合があります。必要に応じてホールドリセットを実行してください。

- 入力種類選択 (InP)
- 表示単位設定 (UnIT)
- 小数点位置 (PGdP)
- 設定リミッタ上限 (SLH)
- 設定リミッタ下限 (SLL)

(5) bHLd (ボトムホールド)

測定入力のボトム値 (最小値) が記憶され、設定値 (SV) 表示器に表示されます。

表示例: 25 °C の場合



記憶されているボトム値 (最小値) は、ホールドリセット (HLdr) でリセットすることができます。



以下のパラメータを変更すると、ホールド値が適正な値ではなくなる場合があります。必要に応じてホールドリセットを実行してください。

- 入力種類選択 (InP)
- 表示単位設定 (UnIT)
- 小数点位置 (PGdP)
- 設定リミッタ上限 (SLH)
- 設定リミッタ下限 (SLL)

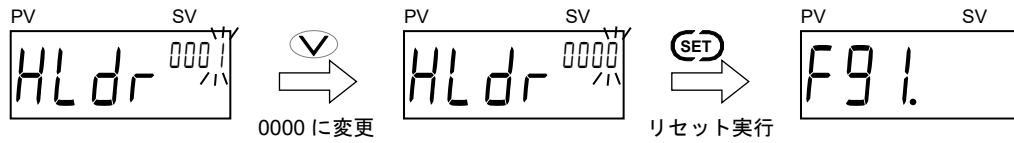
(6) HLdr (ホールドリセット)

記憶されているピーク値 (最大値) とボトム値 (最小値) をリセットできます。ピーク値 (最大値) とボトム値 (最小値) は、一回の操作で両方同時にリセットされます。

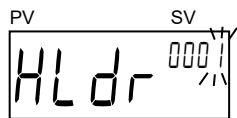
設定値: 0: ホールドリセット実行

出荷値: 1

リセット実行例:



 ホールドリセット実行後、自動的に「0001」に戻ります。



SA220 には、つぎの表に示すように、4 つの新しい通信データがあります。

■ RKC 標準プロトコル

名 称	識別子	データ範囲	出荷値	属性
第 2 警報種類選択 (AS2)	XB	0～8 (P. 21 参照)	note1	
				
設定変化率リミッタ時間設定 (SVrT)	TA	1～3600 秒	60	
サンプリング周期設定 (SMP)	TZ	0: 250 ms (0.25 秒) 1: 500 ms (0.5 秒)	1	RO *
ピークホールド値表示 (PHLd) **	HP	設定リミッタ下限設定 (SLL) ～ 設定リミッタ上限設定 (SLH)	0	RO
ボトムホールド値表示 (bHLd) **	HQ	設定リミッタ下限設定 (SLL) ～ 設定リミッタ上限設定 (SLH)	0	
ホールドリセット (HLdr)	HR	0: ホールドリセット実行 ホールドリセット実行後、自動的に「1」 に戻ります。	1	R/W

} 新しい通信データ

* STOP 状態のときのみ書き込み可 (RUN 状態のときは読み込みのみ)

** 以下の通信データを変更すると、ホールド値が適正な値ではなくなる場合があります。必要に応じてホールドリセットを実行してください。

- 入力種類選択 (InP)
- 表示単位設定 (UnIT)
- 小数点位置 (PGdP)
- 設定リミッタ上限 (SLH)
- 設定リミッタ下限 (SLL)

note1: 製品の仕様によって異なります。

note2: 熱電対、測温抵抗体入力: 2 °C または 2.0 °C
電圧・電流入力: スパンの 0.2 %

note3: 第 2 警報なしの場合: 0
第 2 警報ありの場合: 1

SA220 には、つぎの表に示すように、4 つの新しい通信データがあります。

■ MODBUS 通信プロトコル

名 称	アドレス	データ範囲	出荷値	属性
第 2 警報種類選択 (AS2)	3DH	0～8 (P. 21 参照)	note1	
				
設定変化率リミッタ時間設定 (SVrT)	44H	1～3600 秒	60	
サンプリング周期設定 (SMP)	45H	0: 250 ms (0.25 秒) 1: 500 ms (0.5 秒)	1	RO *
ピークホールド値表示 (PHLd) **	46H	設定リミッタ下限設定 (SLL) ～ 設定リミッタ上限設定 (SLH)	0	RO
ボトムホールド値表示 (bHLd) **	47H	設定リミッタ下限設定 (SLL) ～ 設定リミッタ上限設定 (SLH)	0	
ホールドリセット(HLdr)	48H	0: ホールドリセット実行 ホールドリセット実行後、自動的に「1」 に戻ります。	1	R/W
未定義	49H ⋮ 4EH	—	—	—

} 新しい通信データ

* STOP 状態のときのみ書き込み可 (RUN 状態のときは読み込みのみ)

** 以下の通信データを変更すると、ホールド値が適正な値ではなくなる場合があります。必要に応じてホールドリセットを実行してください。

- 入力種類選択 (InP)
- 表示単位設定 (UnIT)
- 小数点位置 (PGdP)
- 設定リミッタ上限 (SLH)
- 設定リミッタ下限 (SLL)

note1: 製品の仕様によって異なります。

note2: 熱電対、測温抵抗体入力: 2 °C または 2.0 °C
電圧・電流入力: スパンの 0.2 %

note3: 第 2 警報なしの場合: 0
第 2 警報ありの場合: 1

MODBUS は Schneider Electric の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright © 2021, RKC INSTRUMENT INC.

初 版: 2021 年 6 月 [IMQ00]
第 2 版: 2022 年 9 月 [IMQ00]

RKc® 理化工業株式会社
RKC INSTRUMENT INC.

本社 〒146-8515 東京都大田区久が原 5-16-6
TEL (03)3751-8111(代)
FAX (03)3754-3316

ホームページ:
<https://www.rkcinst.co.jp/>



※ 技術的なお問い合わせは、カスタマーサービス専用電話 (03)3755-6622 をご利用ください。